居住福祉計画特論 「地域の福祉転用~これからの住環境と施設のあり方」

M16HB005 寺岡 宏章

1.困っている人: お婆ちゃん

年齢:89 歳 **性別**:女性

体の具合:両側股関節を手術し、リハビリを終えたが、不安定で立ちにくく杖が手放せない。また、正座ができない、かがめない、片足立ちが難しいといったことも挙げられる。 認知症も少しみられる。介護認定 1

毎日の生活: 息子夫婦と同居

週3回デーサービスに通う

週1回 町内の公民館に老人クラブの集まりに参加

月2回 体操教室、病院に連れて行ってもらう

一日の生活	日・水・金	一日の生活	火	一日の生活	木・日	一日の生活	十(月2回)
	目覚める		目覚める		目覚める		目覚める
	起床		起床		起床		起床
	朝食		朝食		朝食		朝食
	身支度		身支度		身支度		身支度
9:00		9:00		9:00		9:00	
9:30	デーサービス迎えが来る	9:30	公民館に行く	9:30	新聞を読む	9:30	体操に行く
10:00	施設に到着	10:00	1	10:00		10:00	∧(または病院)
10:30	↑ 健康チェック	10:30			コープの宅配のカタロ	10:30	
11:00	│ 入浴	11:00		11:00	グを見る	11:00	
			\downarrow				
12:00	昼食	12:00	公民館から帰宅	12:00	昼食	12:00	
			昼食				
13:00	リハビリ	13:00	フ テレビ	13:00	7 テレビ	13:00	昼食
	カラオケ						
14:00	映画鑑賞など	14:00		14:00		14:00	買い物
15:00	おやつ	15:00	J	15:00	J	15:00	V
							お茶
	施設出発		新聞を読む		新聞を読む		新聞を読む
	デーサービスから帰宅	16:30		16:30		16:30	
17:00		17:00	コープの宅配が届く	17:00	雑誌を読む	17:00	テレビ
	新聞を読む						
18:00	洗濯	18:00	洗濯	18:00	洗濯	18:00	洗濯
	- ^		- ^		- 4		- 4
19:00	夕食	19:00	夕食	19:00	夕食	19:00	夕食
00.55] _, ,;	00.00	:	0000		00.00	-1.12
20:00	テレビ	20:00	」テレビ	20:00	」 テレビ	20:00	」 テレビ
01.00		01.00		01.00		01.00	
21:00		21:00		21:00		21:00	
00.00		00.00	-	00.00	-	00.00	
22:00		22:00		22:00		22:00	
23:00	- 1	23:00	· 查4:	23:00	六+ ring	23:00	計画
23:00		23:00	 机	23:00	孙 授	23:00	机役

ご自身の思い

- ・同年代の趣味の合う人と、もっと話をしたり、出かけたりしたい
- ・散歩に出て近所の人と話したい
- ・近所の人も高齢になり、外に出てこなくなり、会えなくなってきている
- ・老人会が時代劇のビデオ鑑賞会や、カラオケ会を企画してくれるが、高齢や体調不良等 で出かけるのがしんどい、面倒で参加できる人が少ないといった現状

生活ニーズ

- ・ 一人で入浴できない ・薬の管理、服薬が難しい
- ・認知症のため、混乱する時がある
- ・時間、日常動作の手順がわからなくなる時がある ・一人で留守番が難しい

- ・手足の爪が切れない・洋服を組み合わせて着られない
- ・食事の支度がしんどい ・掃除ができない

2.ニーズを支えるサービス

彼女は要介護 1 の認定を受けているので、週 3 回デーサービスに通っている。また、入 浴はデーサービスで行っている。

≪家族や周りの人の対応≫

薬の管理:一週間分を壁にかけた薬入れに、一回分ずついれ、家族が入れる。飲んだカラも、そこへ戻し、飲んだか、確認にする。

時間の混乱:夕寝した時に、混乱しやすいので、夕寝しないよう声かけ。夜ごはんだと、 声掛け。

洋服:娘が1週間分ほど、セットして置いておく

食事の支度:一人で家にいる日は、コープの宅配で選んでいた冷凍お弁当やお惣菜を食べる。

デーサービスについて、認知が見られるようになった当初、デーサービスに行くのを嫌がった。その理由として、支度して出かけるのがしんどい、知らない人ばかりの所に行くのが嫌といったように、身体的にも、気持ち的にもデーサービスは、地域性が希薄にもなるのでこのようなことがみられる。また、デーサービスは、祝日が休業のため、祝日があると、1週間間が空くことや、高齢者は曜日の感覚が衰えるので、デーサービスに行く日が分からなくなるなど、生活のリズムが崩れたといった問題も起きていた。そして、本人も間違えた、分からないことを不安に感じ精神的に不安定になったりもした。その後、本人は、朝新聞で曜日を確認するようにして、混乱する事は少なくなった。このように、デーサービスには、まだまだ問題を多く抱えているので、デーサービスだけではない、地域に密着した高齢者コミュニティが必要だと考える。他地域の実際の例として、以下の「みんなのお茶の間くるくる」と地域をつなぐ「くるくるバス」を紹介する。

「みんなのお茶の間くるくる」は、北海道・札幌市での取り組みで、退職後も、人と人とが緩やかにつながるまちにしたいという想いから開設された。現在、毎週火曜日の10時~15時に開き、お茶とお菓子代として夏季100円、冬季は150円の参加費をもらい運営している。好きなときに、好きなことをして過ごすことをモットーに敢えて会員制にはしておらず、口コミで聞きつけた人が立ち寄ることができるようにしている。

地域をつなぐ「くるくるバス」は、福島県福島市で行われている取り組みで、高齢者の 移動問題に関して取り組んでいる。このまち全体が丘陵に立地していて坂道も多く、高齢 者などには暮らしづらい地域となっている。そこでここには、どこでも何度でも無料で乗 れるコミュニティバス「くるくる」(くるくるバス)が走っている。この「くるくるバス」 は、地元の市民団体が、家に閉じこもりがちなお年寄りの外出を支援や、コミュニティづくりのために運行を始めた。運賃は無料で、運行資金はバス車体の広告収入(協賛金)と、住民等からの寄付金や募金で賄っている。

3.住環境·施設計画

年を取ることにより、動くことが次第に困難になり、今まで築かれていた地域性が徐々に失われ、また上記のような様々な問題も起こっている。そこで、このような状況を解決すべく「地域コミュニティカフェ」と「コミュニティバス」の二つを提案します。

地域コミュニティカフェ

デーサービスでは、曜日や回数など制約が多いので、もっと気軽に地域の人が集まることのできる場所を提供します。場所は町の中心に位置し、多くの人が集まりやすくするために公民館の一角で行います。また、この公民館の周辺には、公園やお寺や神社、池があり、普段自宅から遠い人でも公民館からなら気軽に歩いて回れるほどの散歩コースにすることができる。そしてこの周辺には緑があふれているので、家にいては感じることのできない自然を感じ、リフレッシュできるのではないかと思う。また散歩コースは2コース設け、長いコースと短いコースを設ける。コースの途中には、公園やお寺神社、池があるので疲れたらその都度その場所で休憩もできる。地域コミュニティカフェ自体は、平日の朝9時から夕方5時までを開放し、好きな時間に来れるようにする。足が悪い人や、家から距離がある人には、次で提案しているコミュニティバスで来てもらう。ここでは一回100~200円程度でお茶やお菓子が食べれる。近くの公園でフリーマーケットが開かれることがあるので、そこに出店できるような手芸品や、地域の人や学生が演奏などできるように行事を企画をする。

・コミュニティバス

地域コミュニティカフェだけだと、足が悪い、体調があまりすぐれない、天気が悪いといったことから高齢者が参加しにくくなってしまう。そこで現在 taco バスというバスがあり、市内を回っているが、駅やショッピングモールなど主要な場所にしか止まらないので、コースによっては、より地域の細かな施設に止まるものを追加する。また現在は高齢者でもお金が必要だが、よりお年寄りに気軽に使用してもらうために高齢者に限り距離、回数にかかわらず無料にする。その分バス車体の広告収入や、住民等からの寄付金や募金を集め運営していく。

この二つにより、同年代や近所の人と会い話す機会や、散歩に出かける機会を増やし、もっと話をしたり、出かけたりしたいとい想いに応えらえるのではないかと思う。

近所の人も高齢になり、外に出てこなくなり、会えなくなってきている 高齢や体調不良等で外出しづらくなっている状況も改善できるのではないかと考える。

4.イメージ図

コミュニティバス





公民館周辺 散歩コース

5.参考 HP

・内閣府ホームページ「高齢者の居場所と出番に関する事例調査結果報告書」 http://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/kenkyu1.htm (確認:2016/7/21)

・明石市ホームページ「Taco バスについて」

https://www.city.akashi.lg.jp/doboku/kousei ka/machizukuri/kotsu/kokyo/taco-bus/rosenzu/#rosenzu (確認: 2016/7/21)

居住福祉計画特論

M16HB005 寺岡宏章

- 困っている人 : お婆ちゃん
- 年齡:89歲
- 性別:女性
- ・体の具合:両側股関節を手術し、リハビリを終えたが、 不安定で立ちにくく杖が手放せない。 認知症も少しみられる。介護認定1
- 毎日の生活: 息子夫婦と同居 週3回デーサービスに通う

1日の生活 (曜日別)

一日の生活	月・水・金	一日の生活		一日の生活	木田	一日の生活	±(月2回)
7:00	目覚める	7:00	目覚める	7:00	目覚める	7:00	目覚める
7:30	起床	7:30	起車	7:20	起床	7:20	起床
8:00	要金	8:00	要金	8:00	图 食	8:00	富全
830	要文庫	830	要文庫	8:20	長支庫	8:20	長支援
9.00		900		9:00		9:00	
9:30	デーサービス違えが来る	9:30	公臣館に行く	9:30	晋間を挟む	9:30	体操に行く
1000	施設に到着	1000	4	10:00		10:00	A (東たは 病的
1030	↑ 健康 デエック	1030		10:20	TO \$80 HED	10:20	
11:00	入潜	11:00		11:00	of the	11:90	
1200	星食	1200	☆長度から帰宅	12:00	星象	12:00	
1300	リハビリ	1300	星度 リテレビ	13:00	1 FUE	13:90	基 食
1400	カラオケ 映画鑑賞など	1400		14:00		14:00	買い物
1500	84°0	1500		15:00		15:00	Ų.
	₩						左秦
1800	施設出発	1800	新聞を読む		新聞を挟む	16:00	新聞を挟む
	デーサービスから帰宅	1630		16:30		16:20	
17:00	お茶	17:00	コープの宅配が届く	17:00	雑器を続む	17:00	テレビ
1800	新聞を続む 洗濯	1800	洗濯	18:00	洗濯	18:00	法准
1900	夕食	1900	夕食	19:00	夕食	19:00	夕食
2000	745	2000	1765	20:00	1765	20:00	1 765
21:00		21:00		21:00		21:00	
2200		2200		22:00		22:00	
2300	4.3	2200	43	23:00	6.2	22.00	

ご自身の思い

- ・同年代の趣味の含う人と、もっと話をしたり、出か けたりしたい
 - ・散歩に出て近所の人と話したい
- ・近所の人も高齢になり、外に出てこなくなり、会え なくなってきている
- ・老人会に皆が出てこれるように、時代劇のビデオ鑑賞会や、カラオケ会を企画してくれるが、高齢で、体調が悪かったりで、出かけるのがしんどい、面倒で参加で きる人が少ない。

生活ニーズ

- 一人で入浴できない 薬の管理、服薬が難しい
- ・認知症のため、混乱する時がある
- ・日常動作の手順がわからなくなる時がある
- ・一人で留守番が難しい 手足の爪が切れない
- 洋服を組み合わせて着られない
- 食事の支度がしんどい •掃除ができない

≪ニーズを支えるサービス≫

週3回デーサービスに通っている。 入浴はデーサービスでしている。 食料品などはコープの宅配便で頼んでいる。

・爪きり洋服

≪家族や周りの人の対応≫

- ・薬の管理 ・時間の混乱
- ・食事の支度
- 自分ですることをきめる。
- ・鍵の管理

住環境・施設計画

このような状況を解決すべく以下の二つを提案します。

・地域コミュニティカフェの提案

場所:公民館の一角

開催時間:平日の朝9時から夕方5時までを開放し、好き な時間に来れるようにする。

費用:一回100~200円程度でお茶やお菓子が食べれる。 **催し:**近くの公園でフリーマーケットが開かれることが あるので、そこに出店できるような手 芸品や地域の人が 演奏などできるように行事を企画し開放する。

・どこでも何度でも無料で乗れるコミュニティバス

~高齢者の居場所に関する事例~

「みんなのお茶の間くるくる」 地域をつなぐ「くるくるバス」

イメージ図

コミュニティバス



参考部 ・内閣府ホームページ「否辦者の長場所と出事に関する本例調査的長額も書」 ・内閣府ホームページ「否辦者の長場所と出事に関する本例調査的長額も書」 (概義:2010/7/21)

tto://wwwd.cao.so.to/kourei/ishiki/kenkvul.htm ・明石市ホームページ「Taco/くえについて」

www.citv.skashi.ls.ip/doboku/kou enzu/Frosenzu (確認: 2016/7/21)